

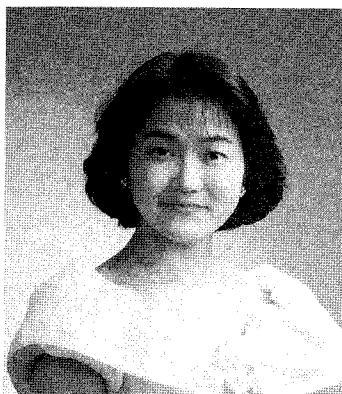
# 鎌倉交響楽団第72回定期演奏会

'98鎌倉市民文化祭参加

98年11月15日(日) 3:00p.m.

鎌 倉 芸 術 館

## プロフィール



### ピアノ独奏：小野智子（おの ともこ）

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業、同大学音楽部器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院修了。1992年より国際ロータリー財団の奨学生としてシュトゥットガルト国立音楽大学大学院に留学し最優秀で修了、さらにソリストコース修了とともにドイツ国家演奏家試験に合格。芸大大学院在学中に芸大定期「室内楽第17、第18回」、神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。95年にはシュトゥットガルトで、96年には藤沢でリサイタルを行うほか、フルートの竹澤栄祐氏とデュオリサイタルを定期的で開催している。

ピアノ協奏曲のレパートリー拡大にも意欲的で、89年、91年には鎌倉交響楽団とシューマン、チャイコフスキーのピアノ協奏曲を共演、96年には藤沢市民交響楽団定期演奏会で、97年にはバーデンバーデン・フィルモニー管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演、バーデンバーデンでの演奏は地元紙により絶賛されている。これまでにピアノを神西敦子、辛島輝治、フェリックス・ゴットリーブの各氏に、室内楽を金昌国、岡山潔の各氏に師事。95年より98年まで東京芸術大学弦楽科伴奏助手として勤務。

### 指揮：古谷誠一（こたに せいいち 常任指揮者）

東京大学文学部卒。在学中から指揮を小澤征爾、秋山和慶、堤俊作の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮してデビュー、以降、「ドン・ジョヴァンニ」「ボエーム」「椿姫」等のオペラから「サウンド・オブ・ミュージック」「アニーよ銃を取れ」「カルメン・ジョーンズ」等のミュージカル、「カルミナ・ブラーナ」、ブリテンの「戦争レクイエム」、ヤナーチェクの「グラゴール・ミサ」、ヴェルディ、ベルリオーズの「レクイエム」等の大がかりな舞台作品まで、手がけた作品はあらゆるジャンルにわたっている。

最近7年間にわたって日本オペレッタ協会の定期公演を手がけ、その間「ルクセンブルグ伯爵」「マリッツァ伯爵夫人」「白馬亭」「微笑みの国」等、日本で演奏されることの少なかったオペレッタを数多く指揮して高い評価を得る。また、日本フィル、東京シティフィル、東京交響楽団、新日フィル、九州交響楽団、関西フィルなど数多くのオーケストラを指揮。1997年にはカーネギーホールでセント・ルークス・ニューヨークオーケストラを指揮し、絶賛される。

現在、名古屋芸術大学助教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



■今回の演奏会にあたり大野守、高山泰利、戸澤哲夫、松村正春、山崎正秋、山代雅之の諸先生（順不同）にも御指導いただきました。

# 鎌倉交響楽団第72回定期演奏会

指揮／古谷誠一

R. シュトラウス 交響詩「ドン・ファン」

L. v. ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」

独奏／小野智子

- I アレグロ
- II アダージョ・ウン・ポコ・モツソ
- III ロンド アレグロ

---

〈休憩〉

---

R. シューマン 交響曲第4番ニ短調

- I かなりゆっくりとー生き生きと
- II ロマンズ かなりゆっくりと
- III スケルツォ 生き生きと
- IV ゆっくりとー生き生きと

〔後援〕 鎌倉市教育委員会

# プログラム・ガイド

## 交響詩「ドン・ファン」 R. シュトラウス (1864-1949)

ドイツ後期ロマン派最後の作曲家、リヒャルト＝シュトラウスは、レーナウの詩「ドン・ファン」を基に、理想の女性を永遠に追い求め続け、結局は倒れてしまう情熱的な男を主人公とするこの交響詩を作曲しました。

曲は悦楽の嵐を表す激しい主題で始まり、ドン・ファンのテーマにさまざまな楽器が奏でる旋律が絡まって、彼が女性の間でさまよひ、葛藤する様子が描かれていきます。独奏ヴァイオリンの気品ある女性の旋律、美にひざまずく姿を歌う木管、新しい女性への求愛を示す低弦、からかうフルート、さらにオーボエによる理想に近い女性など。悦楽の嵐が強まる中、にぎやかで、楽しい謝肉祭の場面を挿んで、曲はクライマックスへ。管弦楽法の名手、シュトラウスの筆は、金管によるドン・ファン、グロッケンによる女性などを配し、何度も出会い、悦楽の嵐を交錯させながら、劇的で官能的な音楽を書き上げていきます。しかし、ドン・ファンは、いかに美を追求しても無駄だと知るに至り、最後は彼の死を暗示して曲は静かに終わります。

今回の演奏会でこの曲を取り上げることは、事件と言っても過言ではありませんでした。とにかく難しいのです。人間の運動能力をはるかに越える速い動き、いやらしい音域、それでいて他の楽器を聞きながら呼吸を合わせるだけの余裕、緻密なアンサンブル、要求されていることが並大抵ではありません。私たちの、この難曲への挑戦が、ドン・ファンの美の追求のように、果たせぬ夢で終わってしまうことのないように、皆さんもハラハラしながらお楽しみ下さい。(Y. T.)

## ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」 ベートーヴェン (1770-1827)

ベートーヴェン(1770-1827)がこの曲を作ったのは39歳の時。前年には交響曲「運命」「田園」を完成しており、この前後数年間はのちに「傑作の森」と評されています。難聴に悩みながらもその絶望の淵から這い上がり、才能を遺憾なく発揮した時期でした。この時、彼が暮らしたウィーンはフランスのナポレオン軍に占領され、市民は不自由な生活を強いられていました。ベートーヴェンはフランス兵士に向かってこぶしを振り上げ、「私に対位法(音楽の技法)と同じくらいに兵法を知っていれば、お前たちに目に物見せてやるのに」と言ったそうです。彼の剛毅な性格と、音楽への自信がうかがえます。生涯を独身で通したベートーヴェンが、有名な謎のラブレターの相手「不滅の恋人」候補と言われる女性と出会ったのも、この時期だと思われます。

これより前の協奏曲には、楽章の終りにピアニストが自由に演奏するカデンツァが付き物でしたが、ベートーヴェンはこの曲に奏者任せのカデンツァを与えませんでした。外界の音を失っていく中、彼の内側ではこの曲が完成された形で鳴り響いていたのでしょう。「皇帝」と名付けたのは作曲者本人ではなく、この曲の勇壮で輝かしい響きから、また数ある協奏曲の中でも頂点を極める名曲ということで、後世の人がつけた呼び名です。

### 鎌倉交響楽団の演奏会の御案内

#### ●ニューイヤーコンサート (J. シュトラウス没後100周年記念)

J. シュトラウス ワルツ「春の声」「ウィーンの森の物語」/モーツァルト 交響曲第41番「ジュピター」他 指揮/大川内弘  
1月16日(土)午後2時半開演 鎌倉芸術館 全自由席1000円 当芸術館本日発売

#### ●第26回室内楽演奏会

鎌倉団員によるアットホームで多彩なアンサンブル・コンサート  
3月13日(土)午後2時開演 鎌倉中央公民館 入場無料

#### ●第73回定期演奏会

5月23日(日) 鎌倉芸術館 指揮/占谷誠一

# プログラム・ガイド

ところで本日の華麗なる独奏者小野さんと、我らがコンマス五味氏。一世代違って見えますが、なんと同じお年だとか…皆さん納得できますか？ステージ上をご確認下さい。(S.S.)

## 交響曲第4番ニ短調 シューマン (1810-1856)

シューマンは19世紀に登場したロマン主義の作曲家です。楽理に関して精通していたにも関わらず、彼にとってそれまで存在していた形式はほとんど何の意味をもっていなかったといいます。彼は批評家に言いました。「内容と思想が形式を定めるのであってその逆ではない」と。また、彼ほど存命中に批評家達に認められなかった作曲家は少ないと言われます。「自由だが機能的な形式」という新しい概念は、当時の保守主義者によって「狂人の作品」と酷評されました。彼のオリジナリティーがもつ美点を見落としていたのです。現在の輝かしいシューマンの名声からは想像もできない厳しい環境の中でこの曲は作られ、1841年に交響的幻想曲として初演されました。後にオーケストレーションし直されて第4交響曲と呼ばれるようになったのです。

ではここで、この曲について練習風景を交えて紹介したいと思います。

**第1楽章**はイ音で始まります。張り詰める緊張の中で繰り広げられる旋律によって気分は次第に高揚していきます。私達はここで冷静さを保ち、エネルギーを使い果たしてしまわないように気を付けなくてはなりません。まだまだ先は長いのですから。そして主題へ流れ込みます。ここでは同じ旋律の受け渡しが続きます。

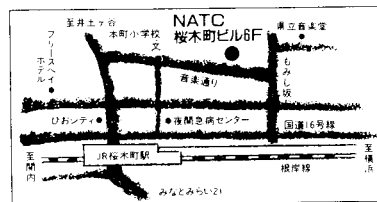
**第2楽章**はうってかわって静かなオーボエとチェロのソロで始まります。弦楽器のピチカートがこの哀調ある旋律をいっそう美しくしていきます。続いて独奏ヴァイオリンが活躍します。今日はいまよくオーケストラの音が落ちて、独奏ヴァイオリンをお聴かせすることができそうですね。

**第3楽章**はスケルツォとトリオから構成されています。ここはあまり命懸けで演奏すると美しくなくなってしまいます。楽に、楽に。

**第4楽章**は、雲の間から急に陽がさしこむような序奏の後の快活なリズムが特徴です。この楽章ではよそのパートへの不信感でいっぱいになりがちです。目にものを言わせて遠くのパートの方をちらっと見ているトップもたまにはいます。指揮を見て裏拍子を数え、周りの音にも気を配らなくては。そうそう、自分の音も忘れてはいけません。しかし、最後のプレストに入ると、皆自分ひとりの世界に入って夢中に演奏するばかりです。これが観客の皆様の耳にどう響いているかは心配ですが…。この曲を演奏していて最も強く感じることは、他の音楽家のどんな曲よりもこの曲には自由が与えられているということです。とかく崇拜者の多い音楽家の曲には「こうあるべきではないか」という暗黙の了解のようなものがあり、幾らか窮屈に感じることがあります。しかし、今回のシューマンの作品は、以上のような意味ではとても自由であり、反面自分達の音楽を追求しなければならないという点で楽ができない曲だと思います。各楽章に共通した動機をどのように歌い上げていくか、どうぞお楽しみ下さい。(T.G.)

《製作・修理・毛替・販売》

# 弦楽器工房かわばた



TEL.045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町3-96-4 NATC桜木町ビル6F ●営業時間/AM10:00~PM7:00(日・祭休み)

# 団員出演者名簿

常任指揮者 古谷 誠 一

団長 日比谷平一郎

運営委員長 山本 賢二

インスペクター 芳賀 節子

コンサート・マスター 五味 俊哉

|            |  |       |  |                 |  |  |  |  |                           |       |
|------------|--|-------|--|-----------------|--|--|--|--|---------------------------|-------|
| 1st Violin | 池田 真美<br>井上 康男<br>宇多 綾子<br>小沢 礼子<br>川西 清美<br>喜多 埜昇次<br>○五味 俊哉<br>○高橋 けい子<br>中村 順子<br>西村 靖之助<br>西山 葉子<br>馬場 潔子<br>日高 理恵子<br>松野 美智子<br>八木 育江<br>山崎 さゆり | Viola | 目黒 ゆりえ<br>石河 由美<br>内海 俊郎<br>箴島 純子<br>梶原 庸子<br>○沢田 淳也<br>清水 正義<br>田中 順子<br>田中 智康<br>十枝 はるか<br>柱本 理絵<br>畠中 正志<br>日比谷平一郎<br>三門 サカエ<br>○水上 清<br>天辰 有紀子 | Piccolo & Flute | ○中村 安孝<br>矢野 健<br>渡辺 均<br>菊竹 秀夫<br>曾根 美樹<br>高橋 弘子<br>○吉田 龍夫<br>小林 晃子<br>小林 隆志<br>山本 賢二<br>伊澤 力<br>片山 真知子   | ○鈴木 美緒<br>前沢 実<br>望月 俊哉<br>○射場 俊郎<br>志馬 康紀<br>松木 祐子<br>三原 一真<br>芥川 敬<br>白井 賢司<br>○佐藤 仁樹<br>芳我 朋子<br>藤尾 正明<br>山崎 和之<br>山田 克彦<br>内田 淳<br>生沼 正博<br>○清水 里美<br>津金 勝技<br>福地 稔栄 | Trombone & Tuba  | 森 久仁子<br>○日高 隆雄<br>深田 雅子<br>府川 創作<br>藤本 功<br>山根 太郎<br>*煤孫 さえ子<br>Percussion *明村 直美<br>○太田 純<br>養田 俊之<br>保田 稔美<br>☆野畑 潤 | Harp                      | ☆野畑 潤 |
| 2nd Violin | 青柳 由紀<br>○有田 静<br>石橋 智子<br>遠藤 勝智<br>大嶋 武也<br>○河原 寛<br>桐本 圭三<br>白水 千晶<br>鈴木 亜矢子<br>曾根 民子<br>高橋 良子<br>富岡 陽子<br>永井 八郎<br>中橋 美木子<br>芳賀 節子                | Cello | ○飯田 達男<br>上田 和男<br>大熊 若菜<br>大庭 伸仁<br>志村 篤子<br>鈴木 達広<br>中井 良樹<br>永野 泰子<br>山田 由紀<br>☆石坂 知恵子<br>梅沢 定彦<br>江口 利哉<br>大内 達郎<br>鈴木 みちる                     | Bassoon         | ○鈴木 美緒<br>前沢 実<br>望月 俊哉<br>○射場 俊郎<br>志馬 康紀<br>松木 祐子<br>三原 一真<br>芥川 敬<br>白井 賢司<br>○佐藤 仁樹<br>芳我 朋子<br>藤尾 正明<br>山崎 和之<br>山田 克彦<br>内田 淳<br>生沼 正博<br>○清水 里美<br>津金 勝技<br>福地 稔栄 | Horn   | ○鈴木 美緒<br>前沢 実<br>望月 俊哉<br>○射場 俊郎<br>志馬 康紀<br>松木 祐子<br>三原 一真<br>芥川 敬<br>白井 賢司<br>○佐藤 仁樹<br>芳我 朋子<br>藤尾 正明<br>山崎 和之<br>山田 克彦<br>内田 淳<br>生沼 正博<br>○清水 里美<br>津金 勝技<br>福地 稔栄 | Bass   | ○パートリーダー<br>*団 友<br>☆賛助出演 |       |

**鎌響団員募集**

オーボエ  
コントラバス  
経験者歓迎

お問い合わせ  
0467-25-3512  
田中方

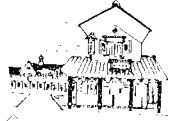
**通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!**

ドライクリーニングのクイックサービス (午前中にお出し下されば夕方迄に仕上がります)

## ファッション クリーニング スピード・クイック

- AM9:00~PM7:00 (日曜定休)
- 鎌倉由比ヶ浜店(22)1501
- 鎌倉本店(71)3293
- 鎌倉大町店(25)3722
- 鎌倉駅前店(73)8114
- 鎌倉深沢店(32)2751
- 鎌倉ハイランド店(72)1131
- 藤 沢 店(22)5595
- 茅ヶ崎十間坂店(85)9209
- 茅ヶ崎共恵店(85)7310
- 茅ヶ崎矢畑店(86)6607
- 茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

鎌倉の駅を通過して  
道すがら  
若宮大路の左角  
『酒まん処』ここに有り  
表紙目 大矢 饅頭



松風堂本店

鎌倉市小町1-5-24  
☎ 0467-22-0666

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇  
TEL. (22) 2 3 7 0

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(やのヤビルB1)  
TEL.(0467)22-4105  
茅ヶ崎市中海岸1-1-58  
(大船ビル1F)  
TEL.(0467)87-1145

カフェ & レストラン



Saloon The Lime  
SINCE 1980 KAMAKURA

鎌倉駅西ロヤノヤビル2F  
TEL. 25-1421

信頼と確かな技術の店  
メガネの専門店

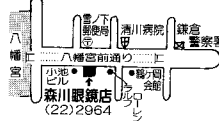
八幡宮前通り

森川眼鏡店

メガネの事ならなんでも相談  
お気軽に。

- 遠中近多焦点レンズ
- 中近多焦点レンズ
- 近近用レンズ

あなたに合ったメガネ  
を御調整致します。



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689  
(22) 8963

健保・労災取扱

大船  
接骨院

佐藤 元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門店

速い...安い...親切...

全国すぐ郵送します。



KAMAKURA  
MUSICJA

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766  
FAX.0467-22-9755

〒248 鎌倉市雪の下1-10-5  
1st Ave. Kamakura 3F  
定休日=木・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか?  
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307  
川下方 TEL 045-865-4885  
片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

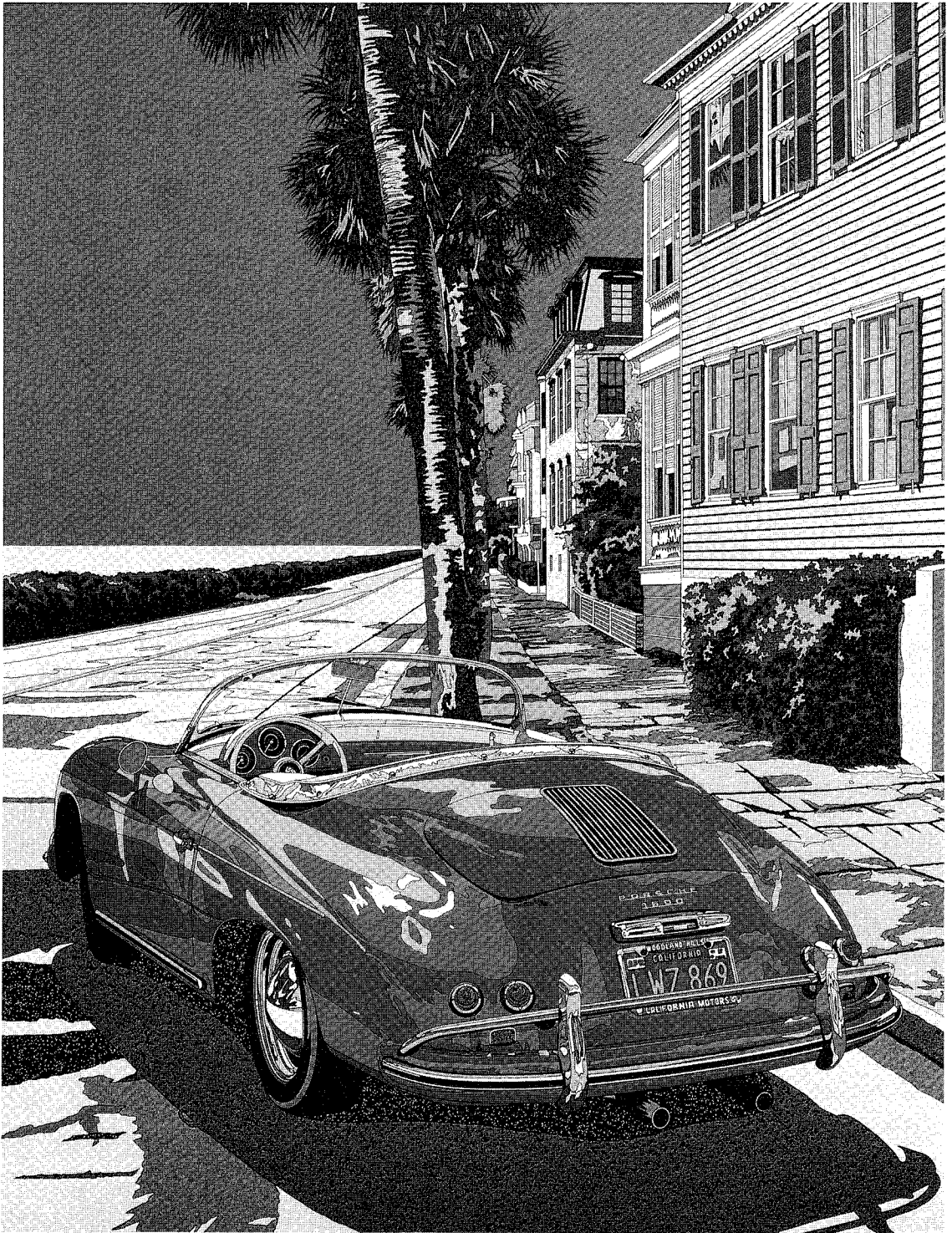
芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壱番館ビル3階

電話 (24) 7273

医師 芋川正彦  
芋川英紀

こんにちは湘南



©EIZIN SUZUKI

# SHONAN

湘南しんきん

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>